



自宅療養中の感染者の生活支援

問 感染者や濃厚接触者の情報を保健所と共有する体制の構築。

また、現在、保健所から支援を求められた場合にのみ対応するものとしている「自宅療養者の生活支援」を受け身の体制とせず、町の方から積極的に自宅療養者にアプローチする体制を構築するべきでは？

町が対応する体制づくり

答 自宅療養となった方が町へ連絡していただけるようなルール。さらに、濃厚接触者の情報を把握していく体制づくりが必要と考えています。

感染者や濃厚接触者の情報共有は難しいかも知れませんが、保健所との連携をより強固なものとし、保健所が対応しないものは町が対応する体制づくりが必要と考えています。



中学校では、家庭の希望に合わせて、タブレットでの学習か、プリントでの学習かを決め、対応しています。

同居家族の風邪症状等により、出席停止となった児童の学習に遅れが生じないよう、適切な家庭学習の支援が行われていますか？

答 タブレット端末を自宅に持ち帰り、オンラインで授業に参加するのか、タブレット端末に課題を配信して学習するのか、全てプリントによる学習が良いのか、本人や家庭の希望により決めることが理想と考えています。

小学校では、ライブ配信授業を行っている学校もありますが、全てプリントによる家庭学習をお願いしている学校もあります。

今後は、本人や家庭の希望に応じた対応がどの学校でもできるように、引き続き取り組んでまいります。

**みんなに愛され惜しまれながら閉校した
油田小学校がよみがえります！**



宿泊OK・5G整備予定
ショートステイから
ロングステイまで

校舎のスモールオフィスと校庭のキャンプサイトを組み合わせ合わせたワーケーション施設を新設・運営します。

運営：K&Jホールディングス株式会社



代表取締役
清水國明氏



周防大島高校
大田真一郎校長

旧安下庄中学校は周防大島高校の第二校舎・第二グラウンドとして復活します。